

【様式1】 CAN-DO LIST 2025

学校名:	錦江湾	高等学校	大学科:	理数
科目名:	論理・表現Ⅱ		学年	2年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価 時期・方法	学期	CS
Speaking Interaction	SI1 ☐	今年の目標や夢など日常的な話題に関して、はっきりと話されれば、簡単な質疑応答をすることができる。	1・2	単元末テスト・インタビュートテスト	1学期	ア
	SI2 ☐	計画を立てたり、誰もが楽しめるスポーツについてグループで話し合う際、自分の考えなどを整理して表現できる。	6・9	単元末テスト・ディスカッション	2学期	イ
	SI3 ☐	環境問題や社会問題の解決方法について、自分の意見を表現したり、適切に答えることができる。	13	単元末テスト・ロールプレイ	3学期	ア
Speaking Presentation	SP1 ☐	SNSの使い方を、基礎的な語句、定型表現を用いて、人前で発表することができる。	3・5	プレゼンテーション	1学期	ア
	SP2 ☐	一連の語句や文を使って、自分やグループの意見などを理由を挙げて発表することができる。	7・11	スピーチ・プレゼンテーション	2学期	イ
	SP3 ☐	移住したい国についてのクイズを作り、発表することができる。	12	スピーチ	3学期	イ
Writing	W1 ☐	語彙や句、文で、友達の経験などの日常的な話題について叙述文などのまとまりのある文章を書くことができる。	4	単元末テスト	1学期	ア
	W2 ☐	自分の興味・関心のあることについて、相手を説得するための論理的な文章を書くことができる。	8・10	単元末テスト	2学期	イ
	W3 ☐	興味のある国の食文化について、グループで調べ、ポスターに興味を引く文章を書くことができる。	14	エッセイライティング	3学期	ア

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2025

R6	学校名:	錦江湾 高等学校	学 年:	2年
	科目名:	論理・表現Ⅱ	大学科:	理数

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	4・5	1	SI	ア	単元末テスト・PT	SI1□	今年の目標など日常的な話題に関して, はっきりと話されれば, 簡単な質疑応答をすることができる。
	5・6	2	SI	ア	単元末テスト・PT	SI1□	自分の夢など日常的な話題に関して, はっきりと話されれば, 簡単な質疑応答をすることができる。
	5・6	3	SP	ア	PT	SP1□	SNSの使い方を, 基礎的な語句, 定型表現を用いて, 人前で発表することができる。
	5・6	4	W	ア	単元末テスト	W1□	語彙や句, 文で, 友達の経験などの日常的な話題について叙述文などのまとまりのある文章を書くことができる。
	6・7	5	SP	ア	PT	SP1□	前もって話すことを用意した上で, 基礎的な語句, 定型表現を用いて, 人前で発表することができる。
2	9	6	SI	イ	単元末テスト・PT	SI2□	計画を立てるため, グループで話し合う際, 自分の考えなどを整理して表現できる。
	9・10	7	SP	イ	PT	SP2□	一連の語句や文を使って, 自分の意見などを理由を挙げて発表することができる。
	10・11	8	W	イ	単元末テスト	W2□	自分が感銘を受けた事柄について, 紹介することができる。
	10・11	9	SI	イ	単元末テスト・PT	SI2□	誰もが楽しめるスポーツについてグループで話し合う際, 自分の考えなどを整理して表現できる。
	11・12	10	SP	イ	単元末テスト	W2□	興味のあるニュースについて調べ, ニュース番組を作って発表することができる。
	11・12	11	SP	イ	PT	SP2□	一連の語句や文を使って, ボランティアの募集について, 広告を作り発表することができる。
3	1・2	12	SP	イ	PT	SP3□	移住したい国についてのクイズを作り, 発表することができる。
	1・2	13	SI	ア	ディベート	SI3□	環境問題や社会問題の解決方法について, 自分の意見を表現したり, 適切に答えることができる。
	2・3	14	W	ア	PT	W3□	興味のある国の食文化について, グループで調べ, ポスターを作り, 発表することができる。

論理・表現Ⅱ 科目の目標

「やり取り」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合ったり、立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができるようにする。
	イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。
「話すこと」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。
	イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。
	イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。